

事業継続を奨励金で応援

7月の豪雨で浸水被害が大きかった城島地域。新型コロナと水害の二重苦の事業者を支援



国は防災と感染症を両支援

国は事業継続力強化計画認定制度を作り、防災や感染症対策に取り組み事業者を支援しています。事業者は災害や感染症の事前対策を計画し、国が認定。設備取得の税制優遇や融資を受けるときの信用保証枠の拡大などが受けられます。

市は幅広く使える奨励金を

国から事業継続力強化計画が認定された事業者は、市は「事業継続力強化促進奨励金」を独自に支給します。奨励金は一般枠で10万円、緊急強化枠で30万円の2種類。奨励金は幅広い用途に使用でき、機材購入の領収証などの提出は不要です。一般枠と緊急強化枠はいずれかの支給になります。

【一般枠】災害や感染症などさまざまなリスクを想定し、対策に取り組み事業者を支援します
【緊急強化枠】新型コロナの影響による売上の減少に加え、平

成30年以降に水害などで被災した事業者を支援します
申請方法など詳しくは市ホームページで確認してください。

計画の作成をサポート

事業継続力強化計画の作成が不安な人向けに、専門家による計2回のワークショップを久留米ビジネスプラザで開催します。

- 開催日 第一部11月24日(火)か26日(木) 第二部12月8日(火)か10日(木)
- 内容 計画書の作成
- 開催日 第二部12月8日(火)か10日(木)
- 内容 計画書の確認と仕上げ
- 料金 無料
- 申込方法 1部と2部から希望日を選択し、市ホームページ、商工政策課にある受付票をファクスかメールで送付
- ◎商工政策課 (☎0942・309133、FAX0942・309707)

市ホームページ
久留米市事業継続力強化促進奨励金へ
詳しくはQRコード

その人に合った職探し

コロナの影響による雇用の動向について、ハローワーク久留米所長の五十川浩司さんに話を聞きました。

有効求人倍率は低水準

仕事を探す1人に対して、企業から何人の求人があるかが「有効求人倍率」です。今年8月のハローワーク久留米の有効求人倍率は0.79倍で、全国の

1.04倍と比べても低水準です。昨年8月と比較すると、0.42ポイント下回り、16カ月連続で前年同月を下回っています。

これまでは、雇用調整助成金や持続化給付金などの支援策もあって、企業側も採用抑制や人員整理など踏みとどまっています。コロナの影響による雇用の悪化はこれからかもしれません。GoToキャンペーンなどで、経済も少しは動き始めましたが、まだまだ先行きは不透明です。仕事に関する不安や相談などがあれば、ハローワーク久留米や本庁舎2階の相談窓口を利用してください。市民の皆さんのニーズに合った支援を行います。



「ハローワーク久留米は、新卒者や外国人、障害のある人への就労支援もやっています」と話す五十川さん

- ◆ ◆ ◆
- 【久留米市ジョブプラザ】 ■日時 平日9時〜17時15分 ■内容 ハローワークの相談員と市の就労サポーターなどによる就労相談や職業訓練、セミナーの情報提供
- 会場 本庁舎2階 ■☎0942・309809、FAX0942・309809

- 42・309707
- 【ひとり親サポートセンター】 ■日時 平日9時〜17時。土曜は電話相談のみ ■対象 ひとり親家庭の親 ■内容 就業相談、就業支援講習会など ■会場 本庁舎2階 ■☎0942・321140、FAX0942・381237
- 【筑後若者サポートステーション】 ■日時 平日・土曜10時〜17時 ■対象 就職氷河期世代を含む15〜49歳の人 ■内容 キャリアコンサルティングや精神保健福祉士が個別相談。企業での職場体験、基礎能力取得講座など。要予約 ■会場 本庁舎2階 ■☎0942・300087
- ◎労政課 (☎0942・309046、FAX0942・309707)

市ホームページ
就労支援・労働相談窓口へ
詳しくはQRコード

地域で頑張る皆さんにエールを送ろう

事業者に寄り添う

国は新型コロナ支援の無料相談窓口として、7月6日から本庁舎13階に久留米よろず給付金申請支援窓口を設置しています。私は主に事業者向けの「家賃支援給付金」と「持続化給付金」の申請を手伝っています。といっても代わりに書類を集めたり、作成したりするのはなく、どんな書類が必要か、申請書はどのように書くかを正確に伝え、申請するまでのサポートが中心です。必要な書類などが複雑な場合もあるので、間違いがないように分かりやすい説明を心掛けています。緊急事態宣言の発令後、収入がゼロになった事業者も多く、本当に厳しい状況です。徐々に相談件数は落ち着いてきましたが、まだまだ困っている人は多いと感じます。今後影響を受け



福岡県よろず支援拠点アドバイザー(行政書士) 無津呂浩平さん

「制度を知らない人もいますので、周りの人たちと共有してほしい」と話す無津呂さん

る事業者が増える可能性もあるので、引き続き相談できる場所が必要です。支援窓口は予約制で無料です。できるだけ早く給付金を受け取れるように、少ない相談回数で解決できるように心掛けています。少しでも分からないことがあれば早く相談してほしいです。これからも事業者の皆さんに寄り添いながらサポートしていきます。

働く第一歩をサポート

ジョブプラザは、職業を紹介するハローワークと、仕事に関する相談を受けてアドバイスをする窓口が一体となったワンストップ型相談窓口です。U・I・Jターンの相談、面接の受け方、正規雇用を希望する人への支援なども行っています。企業からの求人票や求人検索機、地図検索パソコンなどもあり、誰でも使用することが出来ます。新型コロナの影響で、4月、5月の相談件数は昨年度に比べて5割も減少。コロナ発生後は職場環境や公共交通機関を使った通勤に不安を感じている人もいます。

私たちは、本人の希望をしっかりと聞くように心掛けています。適職や適性が分からない、転職をためらっているなど悩みを聞いて、その人に合った支援や仕事の紹介につなげます。職務経歴書の書き方では、職種ごとのフォーマットを見せて内容を提案。残業手当や有給休暇の有無など、本人が直



久留米市ジョブプラザ 黒岩由美子さん

就労サポーターの黒岩さんは「市役所に来た時は気軽に立ち寄ってください」と話します